

OCHIS 11月にセミナー

テーマは健康起因事故

ヘルスケアネット
ワーク(OCHIS)は11月2日、第16回OCHISセミナーを開催する。テーマは「健康起因事故のさらなる背景を探る〜合わせ技をどうする? SAS・高血圧・生活習慣・働き方等」。会場は中央電気倶楽部本館ホール(大阪市北区)で、今回はZoomでのLive配信も行われる。

2022年4月、国交省から「事故報告書取扱要領」の一部改正通知がなされ、睡眠時無呼吸症候群(SAS)が起因とされる事故には疾病名の明記が求められるようになった。今まで漫然運転や衝突事故として報告されていた事故原因が根底から明確にされていくことが、健康起因事故防止における基本と考えられる。

OCHISでは、20年に及ぶ運輸業におけるSAS対策と

ともに、定期健康診断結果から見えるハイレスク疾患や、生活習慣にも焦点を当て、健康起因事故防止の方策を模索してきた。今後はこれらの情報をさらに掘り下げ、複合的な対策につなげていくことが不可欠であり、同セミナーではこれらの活動紹介とともに、行政、有識者、そして事業者を交えて、さらなる健康起因事故防止対策のあり方を探っていく。

基調講演では、国交省自動車局安全政策課の村上強志課長や、全ト協交通・環境部の大西政弘部長らの講演が行われるほか、マイシン総務部の山田真理子次長による安全と健康対策の講話や、事業者の事例として鶴山運送安全管理部の田村克彦氏が自社の健康管理の取り組み発表を行う。

参加申し込みはOCHISホームページの専用URLから。会場参加締め切りは10月26日(会場定員100人、会場参加は1事業者3人まで)、Live配信(定員300人)の締め切りは11月1日。(木村麻理奈)